



【資料】各種調査結果/まちづくりに対する新市民の声と地域の強み
新市民の声を集める 1

地域アンケート調査

人々の意見を、将来構想の材料としました

新市の将来のあり方については、8市町村の多くの人々の声を集めることが重要であると捉え、平成15年4月、8市町村の住民の方々、7,000人を対象とするアンケートを実施しました。「地域への思い」「地域の資源」「将来ありたい地域像」など、多くの声が寄せられました。

アンケート結果の概要

(詳しい内容やグラフについては、次ページ以降をご覧ください)

●地域への愛着や今後への期待(調査結果1)

総合的に住民の地域への愛着は高く、今後地域が良くなることへの期待も高いことがわかりました。

●新市に対する期待と不安(調査結果2・3・4)

新市に対する最大の期待は、「働きやすいまち」を斬新かつ新しい施策展開によって、実現することです。さらに、「安全・安心」「人づくり」「地球に優しい」といった現在の地域の強みを維持し、医療・福祉・環境関連の施策充実を求める声も多く寄せられました。合併に伴う不安に対しては、住民参加、地域の文化や伝統の維持に配慮し、各地域の個性を活かしたまちづくりを進めること、行政経費を削減することに注力する必要があると考えています。

●新市に期待する個性

今後の新市の性格としては、「協調性」や「人情に厚い」ことに加えて、「情報に敏感で、積極的かつチャレンジング(挑戦的)に活動し、向上していきたい」「自主性を持って責任のあるリーダーとして振舞いたい」という住民の意向がうかがえます。

●新市の行政のあり方(調査結果5)

具体的な行政テーマについても現在の評価と、今後どういった施策が重要かをたずねました。その結果、継続強化すべきものと、新たな対策が必要なものとして、以下の事項を重要と考えていることがわかりました。

1. 継続強化すべき重要事項

- ・安全で安心できる防犯・防災対策
- ・河川や森林などの自然保護
- ・学校教育の施設整備や教育内容の高度化・充実
- ・ごみの回収・分別・リサイクル化
- ・保育所や幼稚園の整備をはじめとする子育て支援施策
- ・生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進
- ・静かで落ち着いた住環境の整備
- ・上下水道や集落排水施設の整備・充実

2. 新しい対策が必要な重要事項

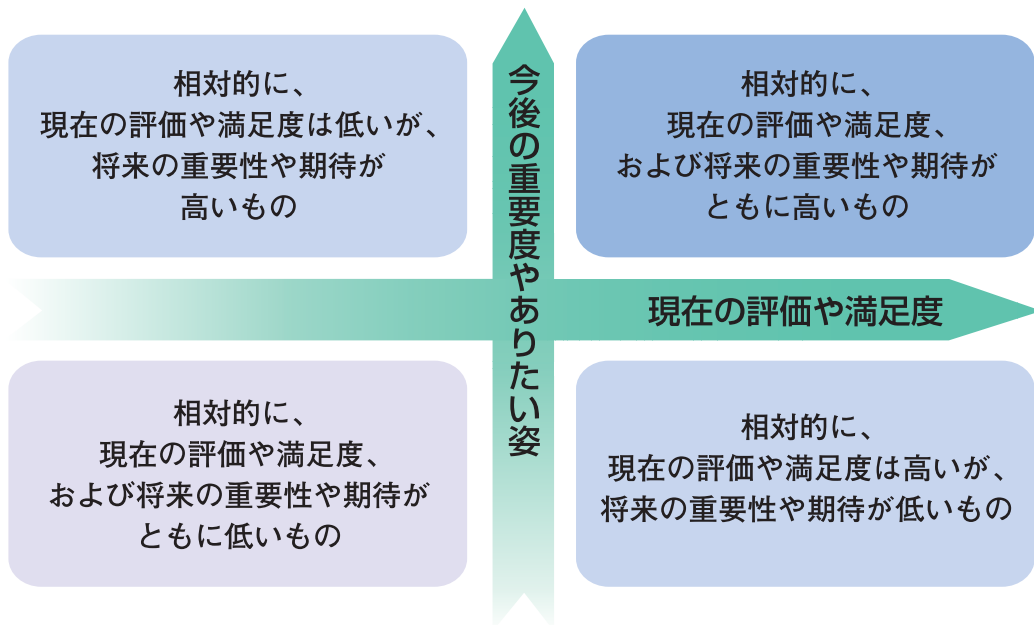
- ・商店街の活性化などの商業振興
- ・地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興
- ・地域医療体制の整備・充実・高度化
- ・道路や公共施設のバリアフリーの推進
- ・情報産業など新しい産業や事業の育成
- ・老人・障害者福祉施設の整備・充実
- ・プライバシーや個人情報保護
- ・老人や障害者に対する在宅サービスの充実
- ・公害防止や省エネルギー化への取り組み

●地域資源の評価と活用(調査結果6)

今後新市が発展したり、より住みよいまちになるために重要な地域の資源についてたずねたところ、以下の結果となりました。

1. 維持・活用・強化すべきもの	「花火」「信濃川などの河川」「米（米作）」「米百俵の精神」「変化に富んだ自然」「山や森の緑」「伝統行事・祭り」「交通の利便性」
2. (1項に加えて) 今後も維持すべきもの	「教育施設・環境」「蛍の飛ぶ風景」
3. (1項に加えて) 観光などの振興に活用すべきもの	「酒造」「雪景色」
4. アイデンティティ・コミュニティの基になるもの(1～3と重複)	「伝統行事・祭り」「花火」「変化に富んだ自然」「郷土の食べ物」「蛍の飛ぶ風景」「米百俵の精神」「山や森の緑」「信濃川などの河川」
5. (1項に加えて) 観光などの地域振興に活用すべきもの	「電子・機械工業」「交通の利便性」「米（米作）」「酒造」

【複合分析図の見方】



次ページからの調査結果では、通常の円グラフや棒グラフなどに加えて、「複合分析図(マトリクス分析結果)」が出てきます。これは、二つの調査結果をまとめて表現したもので、通常は、縦の軸が「今後の重要度や期待」を表し、上にあるものほど重要なものとなります。一方、横の軸は「現在の評価や満足度」で、右にあるものほど現在の評価が高い、または満足しているということになります。(その位置は相対的な指数によって処理しています)

ただ、地域資源に関する複合分析図(調査結果6)は、縦軸が「他地域に比べて優れているという回答率」、横軸が「大切にしたいという回答率」を指数化したもので、右上にあるものほど、「大切にあり、優れているもの」となります。

地域アンケートの実施概要

1. 調査方法

8市町村の住民基本台帳より無作為抽出法および系統抽出法により、調査対象者を抽出し、郵送調査を行った

2. 調査期間

発送：4月16日 記入期間：4月30日まで 回収：5月9日到着分まで

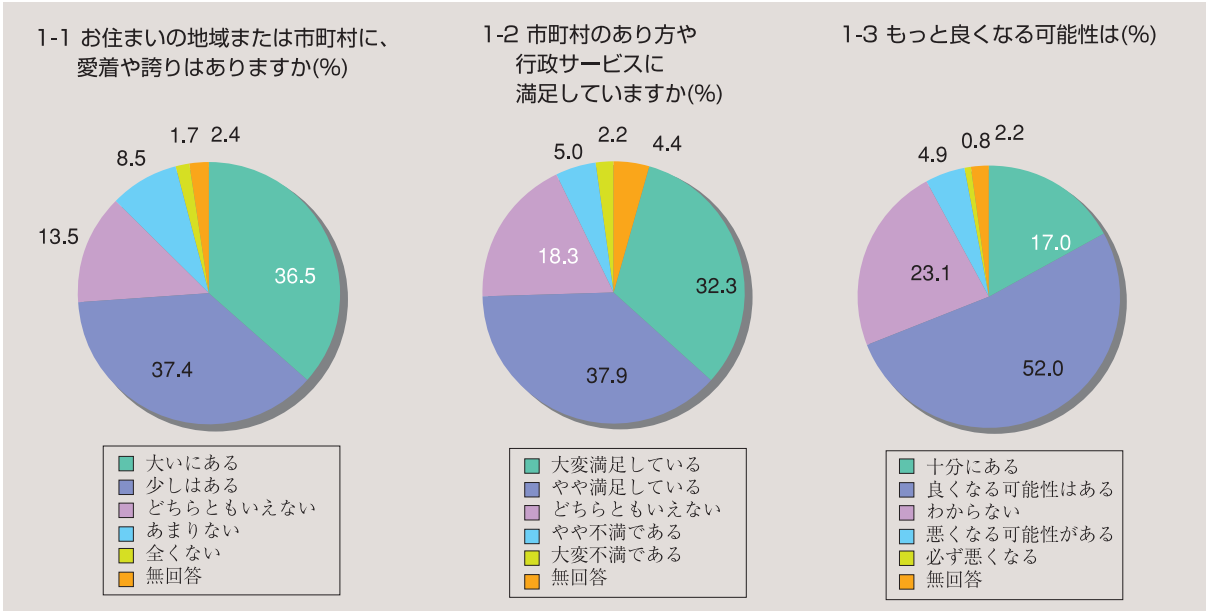
3. 調査回収結果

発送数7,000票 回収数：4,327票 回収率：61.8%



調査結果(1) 地域への愛着・満足度・期待

多くの住民の方々が、地域へ愛着を持ち、今後もっと良くなるという期待を持っていることがわかりました。

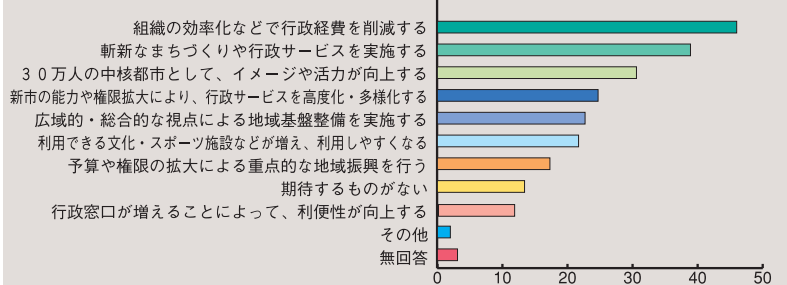


調査結果(2)

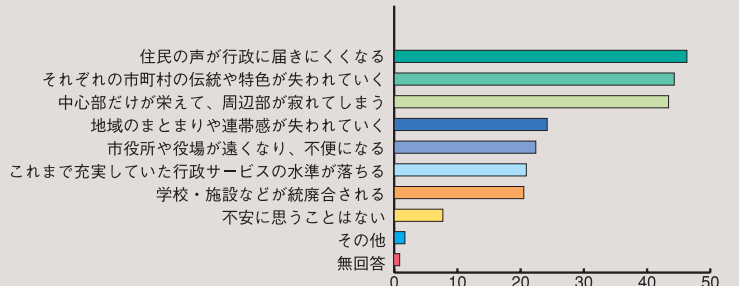
合併に対する期待・不安

合併に対しては「組織の効率化などで行政経費を削減する」「斬新なまちづくりや行政サービスを実施する」といった期待に応え、「住民の声が行政に届きにくくなる」「それぞれの市町村の伝統や特色が失われていく」「中心部だけが栄えて、周辺部が寂れてしまう」といった不安を払拭していくことが求められています。

合併に際し、期待すること(%)



合併に際し、不安に思うこと(%)

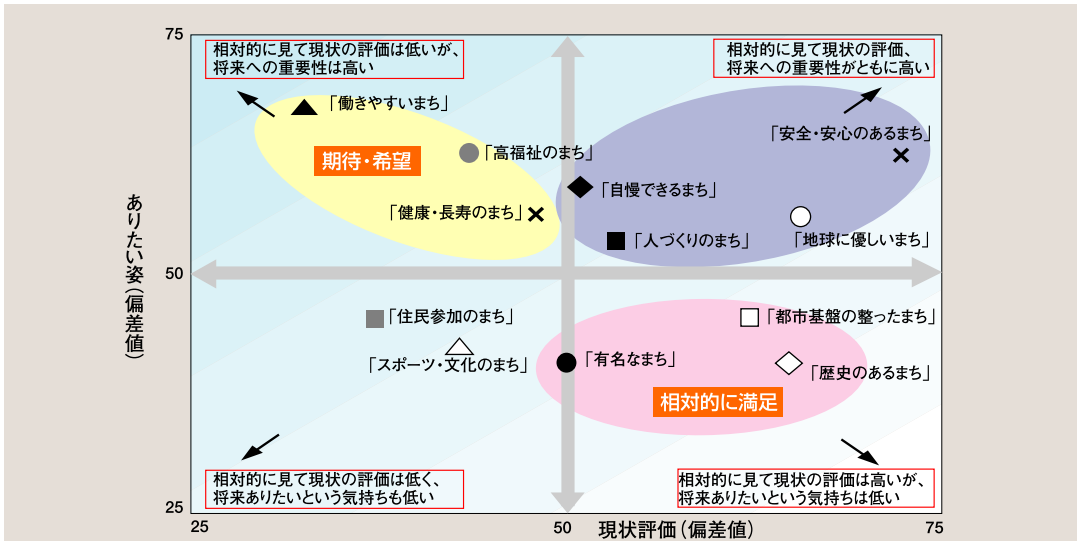


調査結果(3) 地域像の「いま」と「これから」に関する複合分析

(複合図の見方は108p参照)

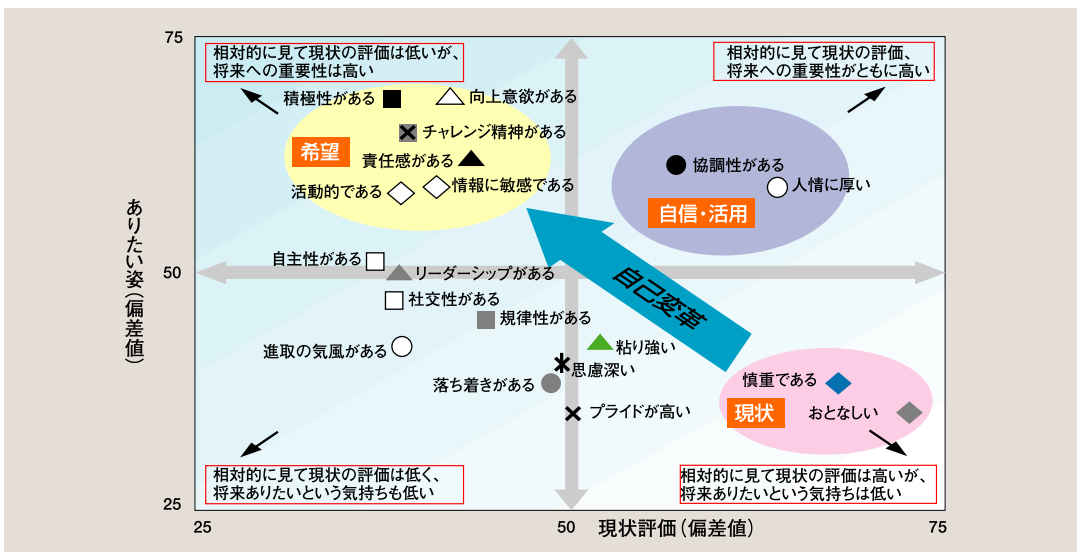
新市地域の今のイメージと、今後のありたいイメージを尋ねました。

下の図の、右の方にあるものが、現在当てはまると思う地域イメージで、上の方にあるものが、これからありたい姿です。その結果、多くの住民の方々が、現在の「安全・安心のあるまち」を維持しつつ、「働きやすいまち」「高福祉のまち」を実現すべきだと考えていることがわかります。



調査結果(4) 地域のパーソナリティ(個性)の複合分析

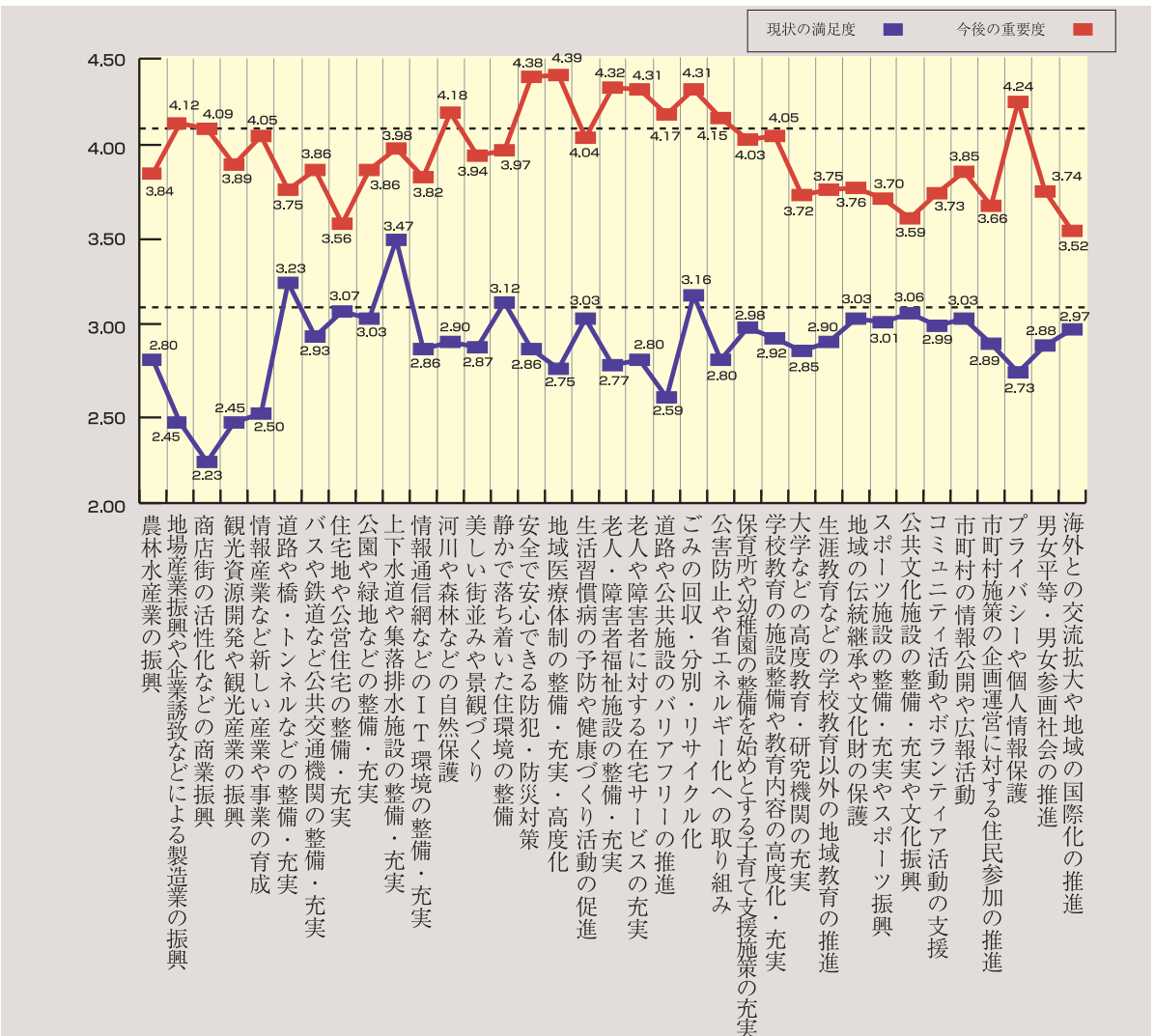
「協調性」や「人情に厚い」という特長を維持しつつ、現在の「おとなしく慎重である」姿から、「情報に敏感で、積極的かつチャレンジングに活動し、向上していきたい」「自主性を持って責任のあるリーダーとして振舞いたい」という意向が現れています。



調査結果(5-1) 個別行政施策の現状満足度と今後の重要度

8市町村住民の方々に、主要な行政施策に関する項目について、現在の評価と今後の重要度を5段階で答えていただきました。その結果は以下のようになりました。(5段階評価の平均点をグラフ化。3点が基準となります)

1. 現状満足度の高いもの (3.1点以上) = 「上下水道や集落排水施設の整備・充実」「道路や橋・トンネルなどの整備・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「静かで落ち着いた住環境の整備」
2. 今後重要なもの (4.1点以上) = 「地域医療体制の整備・充実・高度化」「安全で安心できる防犯・防災対策」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「ごみの回収・分別・リサイクル化」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「プライバシーや個人情報保護」「河川や森林などの自然保護」「道路や公共施設のバリアフリーの推進」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」



調査結果(5-2) 個別行政施策の複合分析（産業振興・ハード関連）

調査結果5-1で示した個別行政テーマのうち、産業振興や都市インフラに関するテーマを図表で示すと以下のようになります。

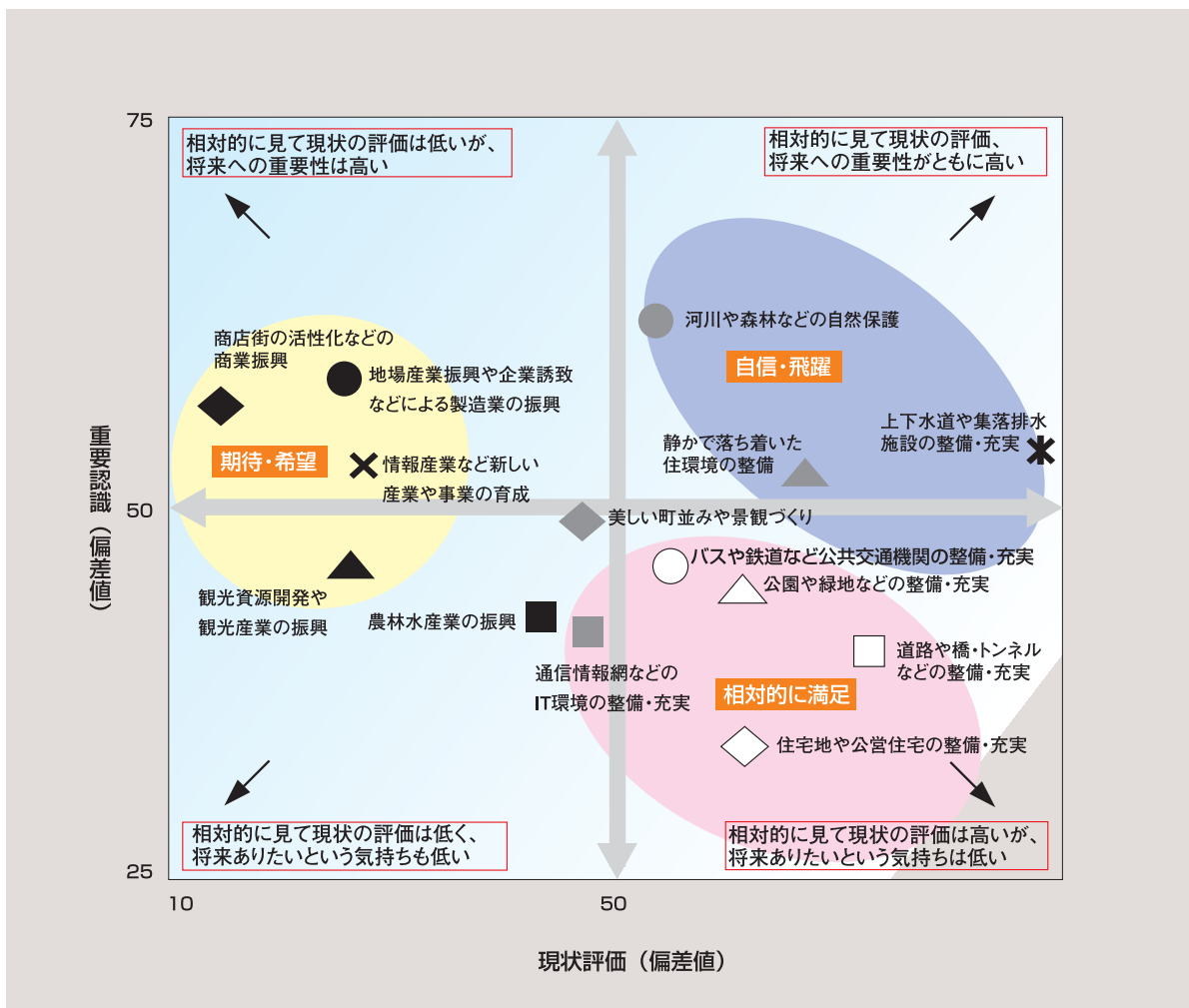
【継続・強化していくべきもの】

右上領域にある「河川や森林などの自然保護」「上下水道や集落排水施設の整備・充実」「静かで落ち着いた住環境の整備」などは現在評価も重要性も高いもので、現在の施策を基本的に継続・強化し、「強みを伸ばす」ことが求められているといえます。

【新しい対策が必要なもの】

新しい対策が必要なものは、現状評価が低く、今後の重要度が高いものです。それは図の左上にあるもので、「商店街の活性化などの商業振興」「地場産業振興や企業誘致などによる製造業の振興」「情報産業など新しい産業や事業の育成」などです。

各種の産業振興が重要課題である一方、自然保護をおろそかにしないしてほしいとの意向が現れています。



調査結果(5-3) 個別行政施策の複合分析 (ソフト・行政運営関連)

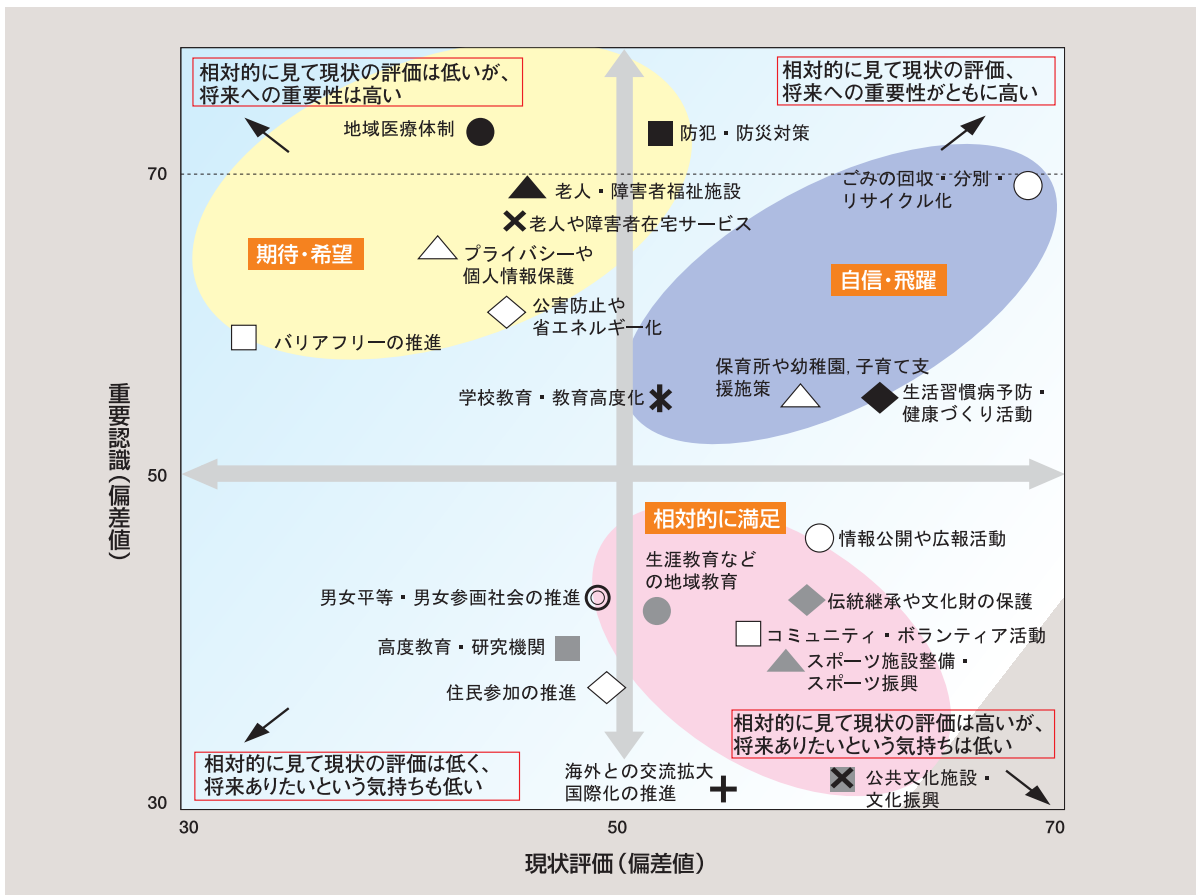
調査結果5-1で示した個別行政テーマのうち、行政サービスや行政運営に関するテーマを図表で示すと以下のようになります。

【維持・強化していくべきもの】

右上の領域にある「ごみの回収・分別・リサイクル化」「生活習慣病の予防や健康づくり活動の促進」「保育所や幼稚園の整備を始めとする子育て支援施策」「学校教育・教育高度化」については、強みを伸ばす重点テーマとして、現状の維持・強化が望まれています。

【今後の重要度が高いもの】

左上領域の「地域医療体制の整備・充実・高度化」「老人・障害者福祉施設の整備・充実」「老人や障害者に対する在宅サービスの充実」「プライバシーや個人情報保護」「バリアフリーの推進」「公害防止や省エネルギー化への取り組み」は、現状評価が低く、今後の重要度が高いものです。また、「防犯・防災対策」についても現状評価に比べて今後の重要度認識が高くなっています。これらの項目については、新しい対策も必要となると考えられます。全体的に重要とされているのは、医療・福祉および環境関連テーマが中心になっています。



調査結果(6) 地域資源の複合分析

地域の代表的な特色や優れた事物（地域資源）について、「大切なもの」と、「他地域に比べて優れているもの」を選んでもらいました。下の図で、右にあるものほど、「大切なもの」で、上にあるほど、「他地域に比べて優れているもの」です。

【地域発展のための資源】

住民の方々の意向に即した地域発展のための資源となりうるものとして、「花火」「信濃川などの河川」「米（米作）」「米百俵の精神」「山岳と平野の変化に富んだ自然」「山や森の緑」「各地の伝統行事・祭り」といった伝統・自然資源に加えて、「交通の利便性」などがあることがわかります。

【住民にとって大切なもの】

「教育施設・環境」「蛍の飛ぶ風景」は、特に優れてはいないかもしれませんが、住民の方々にとっては大切なものであり、今後も維持・充実させるべきものといえます。さらに「酒造」「雪景色」などは、今後の地域振興の資源となる可能性が十分にあるものともいえそうです。

ただし、現市町村別に集計すると、地域資源評価は、それぞれ異なっています。

